

Chronic Low-Grade Systemic Inflammation Causes DNA Damage in the Lungs of Mice

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 有村, 健 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31115

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 604 号	氏 名	有村 健
審 査 委 員 会	主 査 教 授	玉置 淳	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>マウスに LPS を投与した際に Mac-3 陽性肺胞マクロファージが増加し、さらに I 型肺胞上皮細胞、II 型肺胞上皮細胞、血管内皮細胞などの核内に γH2AX およびリン酸化 53BP1 の発現が増加していたことについて、その想定される分子メカニズムに関して質問し、過酸化水素やフリーラジカルの関与の可能性を適確に回答した。また、かかる肺胞上皮細胞を中心とする末梢気道の構成細胞の DNA 障害が果たす臨床的意義についても説明を求めたところ、好中球を主体とする気道炎症が起こった結果局所に遊離される好中球エラスターゼによる肺胞破壊が引き起こされること、また好中球や肺胞上皮細胞から産生される TGFβ に基づく肺間質の線維化も起こることが説明され、各々の現症は慢性閉塞性肺疾患(COPD)や間質性肺炎の発症や憎悪に重要な役割を果たすことも回答された。論文の独創性、結果の妥当性も価値の高いもので、学位取得を適当と判断した。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			